

はじめに

この冊子には、2020 年度の A セメスターに教養学部前期課程の 1・2 年生に対して開講される講義内容の概要（『科目紹介』）と、学年・科類・専門学部ごとの時間割（『時間割表』）が記載されています。

『科目紹介』では、時間割ごとに講義に関する情報を記載していますが、より詳しい情報は、UTAS (<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>) のシラバスで公開していますので、履修を検討している講義については必ず参照してください。それぞれの講義内容をよく比較して、各自履修計画を立ててください。なお、こちらは『履修の手引き』の I－4 に掲載されている、(表 2)「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」の順に記載されています。

『時間割表』は、「科類別時間割表」「総合科目等時間割表」「専門科目一覧表」に分かれています。受講するクラスが指定されている科目は、科類ごとに「科類別時間割表」に、受講するクラスが指定されていない総合科目、主題科目及び展開科目は、「総合科目等時間割表」に、各種情報が記載されています。

入学時に配付された『履修の手引き』を参照して、前期課程の修了要件を満たすためにはどの科目群からどの程度の単位の履修が必要か、進学志望の学部・学科等の要望科目・要求科目はどうなっているか、将来進むべき専門分野の基礎知識を十分につけ、あわせて幅広く深い教養を身につけるためにはどのような組み合わせで講義を履修するのがよいかなどを十分に考えて、バランスよく履修計画を立ててください。

A セメスター（A1・A2 ターム）科目紹介

この電子ブックには A セメスター（A1・A2 ターム）に開講される科目の科目紹介（シラバス抜粋）が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。各授業のシラバスは、UTAS にログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することで参照ができます。UTAS 上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、必ず UTAS 上のシラバスを参照するようにしてください。

科目紹介（シラバス）例（科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥
講義題目 目標概要							

①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTAS でシラバスを参照する際などに使用します。

②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
S	S セメスター	概ね 4～7 月
S1	S1 ターム	概ね 4～5 月
S2	S2 ターム	概ね 6～7 月

授業日の詳細については、授業日程を参照してください。

③所属

教養学部（総合文化研究科）が開講する授業は、開講元の部会名又は学科（専攻）が掲載されています。
他学部・研究科等が開講する授業は、当該学部・研究科等の名前が掲載されています。

開講所属凡例

教養学部前期課程部会
英語
ドイツ語
フランス語・イタリア語
中国語
韓国朝鮮語
ロシア語
スペイン語
古典語・地中海諸言語
法・政治
経済・統計
社会・社会思想史
国際関係
歴史学
国文・漢文学
文化人類学
哲学・科学史
心理・教育学
人文地理学
物理
化学
生物
情報・図形
宇宙地球
相関自然
スポーツ・身体運動
数学
PEAK 前期
日本語
先進科学

教養学部
統合自然科学科

総合文化研究科
言語情報科学専攻
超域文化科学専攻
表象文化論コース
超域文科化学専攻
比較文学比較文化コース
地域文化研究専攻
地域文化研究専攻
アジア・日本文化研究コース

その他（後期課程諸学部、全学センターなど）
情報メディア科学委員会
法学部
医学部
新領域創成科学研究科
先端科学技術研究センター
生産技術研究所
人間の安全保障プログラム
etc.

④曜限

授業が行われる曜限が掲載されています。「集中講義」と記載されている授業は、特定の日程や授業期間外に行われることがありますので、授業内容を確認してください。

⑤単位

当該授業に合格した場合に得られる単位数が掲載されています。当項目の掲載がない科目については、『履修の手引き』p.6 に掲載されている内容に従います。

⑥対象

授業の対象となる科類やクラスが掲載されています。欄内の数字は組番号を表し、複数クラスが対象の場合は「6,16-18,20」のように範囲を示しています（この場合は 17 組も対象クラスに含みます）。「奇数」「偶数」と記載のある場合には、学生証番号末尾の数字の奇数・偶数で対象学生を示しています。本項目で指定されていない科類・クラス等に所属している学生は当該授業の履修登録を行うことができないので、注意してください。

⑦科目紹介の内容

具体的な科目紹介の内容が掲載されています。授業によっては、履修にあたっての注意点等が挿入されていることがあります。不明な点は教務課に必ず確認の上、履修登録を行うようにしてください。

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目 1 単位または 2 単位で、計 5 単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列 S（アカデミック・ディスカッション）・英語二列 W（アカデミック・ライティング）に分けられる（その他に総合科目 L 系列 3 単位）。

英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業である。英語二列 S も同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生とも FLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施する。英語二列 W は、文科生は ALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)、理科生は ALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムにより実施する。

●本冊子においては、次頁以降「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」のシラバスが掲載されている。

●「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修する。「英語一列」「英語二列 S」は習熟度別にクラスが分けられている。

●「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」の 3 科目をそれぞれのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の 4 つのグループにあらかじめ分けられる。「(クラス指定総合科目 L)」と記載されている部分については、総合科目 L 系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講される。

所属クラス	ターム・セメスター			
	1S1	1S2	1A1	1A2
	1S		1A	
文一二 (8,11,22,25-26) 文三 (5,7,11,14,19) 理一 (1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39) 理二三 (11,13,20,23)	英語一列①	英語二列 S	(クラス指定 総合科目 L)	英語一列②
	(クラス指定総合科目 L)		英語二列 W	
文一二 (5-6,13,15,16,18-19,24) 文三 (6,10,12,17) 理一 (7,9,13,19,25,28,30,34,37) 理二三 (6-7,18,19,22)	英語一列①	(クラス指定 総合科目 L)	英語二列 S	英語一列②
	英語二列 W		(クラス指定総合科目 L)	
文一二 (1-3,7,10,17,20-21,23,27-28) 文三 (1-3,9,15-16) 理一 (8,11,16,21,24,27,29,33) 理二三 (4,8,9,14,17,21)	英語二列 S	英語一列①	英語一列②	(クラス指定 総合科目 L)
	(クラス指定総合科目 L)		英語二列 W	
文一二 (4,9,12,14) 文三 (4,8,13,18,20) 理一 (5-6,10,14-15,22,26,32,38) 理二三 (1-3,5,10,12,15-16,24)	(クラス指定 総合科目 L)	英語一列①	英語一列②	英語二列 S
	英語二列 W		(クラス指定総合科目 L)	

外国語（英語一列・特別クラス）

英語一列（教養英語）・特別クラス					
《英語一列①（教養英語）》					
目標・概要	「教養英語」は、本学教養学部の英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科生、文科生を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書『教養英語読本』と、これに関連したリスニング教材を使用して行う授業である。リスニング教材（音声）およびスクリプトは下記「関連ホームページ」で配信する。クラスは、学生の習熟度に合わせて三段階に分かれており、それぞれのグループの学生にもっとも適した進度や授業方法を採用する。その際、全クラスで共通して学習する部分を一定量設けて試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。				
授業の方法	各担当教員のシラバスを参照すること。				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook				
	書名	教養英語読本Ⅱ			
	著者（訳者）	東京大学教養学部英語部会（編）			
	出版社	東京大学出版会			
関連ホームページ	http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/efas/				
《英語特別クラス》					
非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列②」「英語二列」「総合科目Ⅰ系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。					
《英語特修クラス（第3学期終了時点で平均合格していない進学内定者《平均点が40点以上50点未満》対象）》					
※2014年度以前入学者対象					
すでに学んだ英語科目の授業内容を復習し、不足部分を補いつつ、英語の運用能力を高めることを目指す。詳しくはUTAS上のシラバスを参照のこと。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。旧カリキュラム科目であり、現カリキュラム生は履修不可。					
授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列②	教養英語 担当教員	各教室	A1	火3	1年文一二（1-3,7,9,27）文三（1-3,8-9）理一（5-6,16,27）理二三（1-3,5,12,17）
				火4	1年文一二（4,21,23）文三（16,18）理一（21-22,32,38）理二三（8,14-15）
				水2	1年文一二（10,14,20）文三（4,13）理一（11,14-15,24）理二三（4,9-10）
				水3	1年文一二（12,17,28）文三（15,20）理一（8,10,26,29,33）理二三（16,21,24）
			A2	火3	1年文一二（13・24-25）文三（11・17）理一（1・4・9・18-19）理二三（7・13）
				火4	1年文一二（6・8・18）文三（5・7・12）理一（20・30-31・34-35）理二三（11・18・22）
				水2	1年文一二（5・15・19・26）文三（6・19）理一（7・12・23・28・36）理二三（6・23）
				水3	1年文一二（11・16・22）文三（10・14）理一（13・17・25・37・39）理二三（19-20）
英語特修	担当教員	シラバス 参照	A	集中	2014年度以前入学の2年生

外国語（英語二列 S）

Fluency-Oriented Workshop (FLOW)				
授業の目標・概要		The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in a classroom discussion, to be aware of their weaknesses, and to have the tools to improve autonomously.		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	開講	曜限	担当教員	対象クラス
50313	A 1	火 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50314	A 1	火 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50315	A 1	火 3	AKINDELE Tito	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50316	A 1	火 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50317	A 1	火 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50318	A 1	火 3	沈 尚玉	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50319	A 1	火 3	Kartika Diana	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50320	A 1	火 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50321	A 1	火 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50322	A 1	火 3	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50323	A 1	火 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50324	A 1	火 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50325	A 1	火 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50326	A 1	火 3	BROOKS Britton	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50327	A 1	火 3	WEITEMIER Adam	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50328	A 1	火 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50382	A 1	火 4	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50383	A 1	火 4	ROBB Nigel	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50384	A 1	火 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50385	A 1	火 4	BROOKS Britton	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50386	A 1	火 4	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50387	A 1	火 4	Kartika Diana	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50388	A 1	火 4	マニナン ジョン	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50389	A 1	火 4	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50390	A 1	火 4	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50391	A 1	火 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50392	A 1	火 4	AKINDELE Tito	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50393	A 1	火 4	DIETZ Richard	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50394	A 1	火 4	ナオミ バーマン	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50395	A 1	火 4	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50396	A 1	火 4	沈 尚玉	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50490	A 1	水 2	BROOKS Britton	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50491	A 1	水 2	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50492	A 1	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50493	A 1	水 2	ROBB Nigel	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50494	A 1	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

外国語（英語二列 S）

50495	A 1	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50496	A 1	水 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50497	A 1	水 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50498	A 1	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50499	A 1	水 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50500	A 1	水 2	沈 尚玉	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50501	A 1	水 2	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50502	A 1	水 2	Kartika Diana	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50503	A 1	水 2	AKINDELE Tito	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50504	A 1	水 2	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50505	A 1	水 2	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50588	A 1	水 3	沈 尚玉	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50589	A 1	水 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50590	A 1	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50591	A 1	水 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50592	A 1	水 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50593	A 1	水 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50594	A 1	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50595	A 1	水 3	BROOKS Britton	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50596	A 1	水 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50597	A 1	水 3	WEITEMIER Adam	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50598	A 1	水 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50599	A 1	水 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50600	A 1	水 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50601	A 1	水 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50602	A 1	水 3	Kartika Diana	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
60113	A 2	火 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60114	A 2	火 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60115	A 2	火 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60116	A 2	火 3	BROOKS Britton	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60117	A 2	火 3	WEITEMIER Adam	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60118	A 2	火 3	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60119	A 2	火 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60121	A 2	火 3	沈 尚玉	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60122	A 2	火 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60123	A 2	火 3	Kartika Diana	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60124	A 2	火 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60125	A 2	火 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60126	A 2	火 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60127	A 2	火 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60128	A 2	火 3	AKINDELE Tito	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60129	A 2	火 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60134	A 2	火 4	沈 尚玉	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)

外国語（英語二列 S）

60135	A 2	火 4	ナオミ バーマン	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60136	A 2	火 4	DIETZ Richard	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60137	A 2	火 4	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60138	A 2	火 4	BROOKS Britton	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60139	A 2	火 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60140	A 2	火 4	ROBB Nigel	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60141	A 2	火 4	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60142	A 2	火 4	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60143	A 2	火 4	Kartika Diana	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60144	A 2	火 4	マニナン ジョン	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60145	A 2	火 4	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60146	A 2	火 4	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60148	A 2	火 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60149	A 2	火 4	AKINDELE Tito	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60165	A 2	水 2	沈 尚玉	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60166	A 2	水 2	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60167	A 2	水 2	Kartika Diana	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60168	A 2	水 2	AKINDELE Tito	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60169	A 2	水 2	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60170	A 2	水 2	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60171	A 2	水 2	BROOKS Britton	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60173	A 2	水 2	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60174	A 2	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60175	A 2	水 2	ROBB Nigel	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60176	A 2	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60177	A 2	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60178	A 2	水 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60179	A 2	水 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60180	A 2	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60181	A 2	水 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60183	A 2	水 3	WEITEMIER Adam	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60184	A 2	水 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60185	A 2	水 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60186	A 2	水 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60187	A 2	水 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60188	A 2	水 3	沈 尚玉	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60189	A 2	水 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60190	A 2	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60191	A 2	水 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60192	A 2	水 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60193	A 2	水 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60194	A 2	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60195	A 2	水 3	BROOKS Britton	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語（英語二列 S）

60196	A 2	水 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60197	A 2	水 3	Kartika Diana	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語（英語二列 W） ALESA

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)			開講区分	A
授業の目標・概要		This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will: - be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view; - understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay; - be familiar with basic stylistic conventions of academic writing.		
授業の方法		Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on a issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; writing and revising; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments. The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.		
関連ホームページ		http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス	
50029	月 2	Kartika Diana	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50030	月 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50031	月 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50032	月 2	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50033	月 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50034	月 2	沈 尚玉	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50035	月 2	ナオミ バーマン	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50036	月 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50037	月 2	片山 晶子	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50038	月 2	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50732	木 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50733	木 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50734	木 2	BROOKS Britton	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50735	木 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50736	木 2	船田 なつの	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50737	木 2	沈 尚玉	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50738	木 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50739	木 2	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50740	木 2	片山 晶子	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50791	木 3	船田 なつの	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50792	木 3	BROOKS Britton	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50793	木 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50794	木 3	片山 晶子	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50795	木 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50796	木 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50797	木 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50798	木 3	沈 尚玉	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50903	金 1	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)	
50904	金 1	船田 なつの	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)	

50905	金 1	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50906	金 1	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50907	金 1	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50908	金 1	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50909	金 1	Kartika Diana	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50910	金 1	DIETZ Richard	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50911	金 1	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50912	金 1	ナオミ バーマン	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50998	金 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50999	金 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
51000	金 3	Kartika Diana	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
51001	金 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
51002	金 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
51003	金 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
51004	金 3	船田 なつの	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
51005	金 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
51006	金 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)

外国語（英語二列 W）ALESS

Active Learning of English for Science Students (ALESS)		開講区分	A
授業の目標・概要	In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision.		
授業の方法	Class activities include reading and analyzing scientific writing in English, designing a research project, group work, peer review of student writing, and speaking activities. Each student writes a research paper based on an application of the scientific method. The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the ALESS Lab and the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and presentation.		
関連ホームページ	http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50045	月 2	AKINDELE Tito	1 年 理一(4,35-36)
50046	月 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(4,35-36)
50047	月 2	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(4,35-36)
50048	月 2	神島 智子	1 年 理一(4,35-36)
50049	月 2	WEITEMIER Adam	1 年 理一(4,35-36)
50050	月 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(4,35-36)
50051	月 2	BROOKS Britton	1 年 理一(4,35-36)
50077	月 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50078	月 3	神島 智子	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50079	月 3	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50080	月 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50081	月 3	ナオミ バーマン	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50082	月 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50083	月 3	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50084	月 3	マニナン ジョン	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50085	月 3	ROBB Nigel	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50086	月 3	SEDDON Ryan John	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50087	月 3	WEITEMIER Adam	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50088	月 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50089	月 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50090	月 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50091	月 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50092	月 3	AKINDELE Tito	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50141	月 4	SEDDON Ryan John	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50142	月 4	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50143	月 4	ROBB Nigel	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50144	月 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50145	月 4	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50146	月 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50147	月 4	マニナン ジョン	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50218	火 1	ジェームズ エリンガー	1 年 理二三(21,23)

50219	火 1	神島 智子	1 年 理二三(21,23)
50220	火 1	SEDDON Ryan John	1 年 理二三(21,23)
50221	火 1	WEITEMIER Adam	1 年 理二三(21,23)
50222	火 1	ROBB Nigel	1 年 理二三(21,23)
50461	水 1	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理一(1-3,18,27)
50462	水 1	AKINDELE Tito	1 年 理一(1-3,18,27)
50463	水 1	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	1 年 理一(1-3,18,27)
50464	水 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(1-3,18,27)
50465	水 1	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(1-3,18,27)
50466	水 1	WEITEMIER Adam	1 年 理一(1-3,18,27)
50467	水 1	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(1-3,18,27)
50756	木 2	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50757	木 2	WEITEMIER Adam	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50758	木 2	神島 智子	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50759	木 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50760	木 2	AKINDELE Tito	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50761	木 2	マニナン ジョン	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50762	木 2	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50923	金 1	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理二三(8,14)
50924	金 1	SEDDON Ryan John	1 年 理二三(8,14)
50925	金 1	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 理二三(8,14)
50926	金 1	RUIZ TADA Elisa	1 年 理二三(8,14)
50927	金 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理二三(8,14)
51022	金 3	マニナン ジョン	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51023	金 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51024	金 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51025	金 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51026	金 3	ROBB Nigel	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51027	金 3	SEDDON Ryan John	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51028	金 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51065	金 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 理二三(4,11,17)
51066	金 4	ジェームズ エリンガー	1 年 理二三(4,11,17)
51067	金 4	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 理二三(4,11,17)
51068	金 4	マニナン ジョン	1 年 理二三(4,11,17)
51069	金 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理二三(4,11,17)
51070	金 4	ROBB Nigel	1 年 理二三(4,11,17)

基礎科目 ドイツ語

ドイツ語			開講区分	A
授業の目標・概要 一列・二列では共通教材『Einblicke』（東京大学教養学部ドイツ語部会編）を用いて、週二回の授業により、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。 履修者は必ず、同一クラスの一列と二列を履修すること。一列もしくは二列のみの履修は認められない。 なお、L系列の科目、特にドイツ語初級（演習）も積極的に履修することを勧める。				
教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ドイツ語共通教科書『Einblicke』 著者（訳者） 東京大学教養学部ドイツ語部会編				
関連ホームページ http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50058	月 2	ドイツ語一列②	大石 紀一郎	1 年 理一(32)
50138	月 4	ドイツ語一列②	川喜田 敦子	1 年 文三(15)
50609	月 4	ドイツ語一列②	斉藤 渉	1 年 文三(16)
51513	月 6	ドイツ語一列②	有信 真美菜	1 年 文科 理科(オンライン専用)
50543	火 1	ドイツ語一列②	高橋 亮介	1 年 理一(29)
50041	火 3	ドイツ語一列②	久保 哲司	1 年 文一二(21)
50057	火 3	ドイツ語一列②	竹峰 義和	1 年 理一(30)
50346	火 3	ドイツ語一列②	一條 麻美子	1 年 理一(31)
50414	火 4	ドイツ語一列②	竹峰 義和	1 年 理一(28)
50419	火 4	ドイツ語一列②	石田 勇治	1 年 理二三(20)
51034	水 2	ドイツ語一列②	識名 章喜	1 年 理二三(17)
50646	水 4	ドイツ語一列②	森 芳樹	1 年 理一(33)
50807	水 4	ドイツ語一列②	有信 真美菜	1 年 文一二(22)
50653	木 2	ドイツ語一列②	高橋 宗五	1 年 理二三(19)
50743	木 2	ドイツ語一列②	稲葉 治朗	1 年 文一二(20)
50828	木 4	ドイツ語一列②	金 志成	1 年 理二三(18)
50840	木 4	ドイツ語一列②	クリスティアン クリンク	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
51467	水 3	ドイツ語特修	有信 真美菜	2 年 文科 理科
51469	水 4	ドイツ語特修	石田 勇治	2 年 文科 理科

基礎科目 フランス語

フランス語			開講区分	A
授業の目標・概要				
文科学クラス、理科学クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。 文科学は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。 理科学には、文科学の演習に相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が自由選択できるので、積極的に参加してほしい。				
教科書 関連ホームページ				
授業中に指示をする。／Will specify at class time http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50042	月 2	フランス語一列②	飛嶋 隆信	1 年 文一二(24)
50059	月 2	フランス語一列②	大森 晋輔	1 年 理一(37)
50101	月 3	フランス語一列②	藤岡 俊博	1 年 理一(38)
50102	月 3	フランス語一列②	治山 純子	1 年 理一(39)
50133	月 4	フランス語一列②	郷原 佳以	1 年 文一二(23)
50407	火 4	フランス語一列②	山田 広昭	1 年 文一二(26)
50637	水 4	フランス語一列②	伊達 聖伸	1 年 文三(17)
50746	木 2	フランス語一列②	渡邊 淳也	1 年 文三(19)
50767	木 2	フランス語一列②	坂本 さやか	1 年 理一(35)
50768	木 2	フランス語一列②	桑田 光平	1 年 理一(36)
50772	木 2	フランス語一列②	三浦 篤	1 年 理二三(22)
50808	木 3	フランス語一列②	篠原 学	1 年 文一二(25)
50809	木 3	フランス語一列②	松村 剛	1 年 文一二(28)
50810	木 3	フランス語一列②	森元 庸介	1 年 文三(18)
50811	木 3	フランス語一列②	片岡 大右	1 年 文三(20)
50841	木 4	フランス語一列②	ビゼ	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
50862	木 4	フランス語一列②	篠原 学	1 年 理二三(23)
51007	金 3	フランス語一列②	渡邊 淳也	1 年 文一二(27)
51029	金 3	フランス語一列②	鈴木 順子	1 年 理一(34)
51035	金 3	フランス語一列②	佐々木 悠介	1 年 理二三(21)
51036	金 3	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	1 年 理二三(24)
50620	水 3	フランス語特修	星埜 守之	2 年 文科 理科

基礎科目 中国語

中国語			開講区分	A
授業の目標・概要				
中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。 ●文科生は選択必修科目の初級演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの初級演習を履修すること。 ●理科生向けには、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一、二列で習ったことをもとに、コミュニケーション能力を高めることが望ましい。(火1 に開講) ●既習クラスは、概要やテキストが異なるため該当クラスのシラバスを確認すること。				
教科書				
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 漢語課本 著者(訳者) 小野秀樹・賈黎黎・吉川雅之 著 出版社 白帝社				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50137	月 4	中国語一列②	大橋 義武	1 年 文三(14)
50210	火 1	中国語一列②	阿古 智子	1 年 理一(3)理二三(3)
50413	火 4	中国語一列②	山影 統	1 年 理一(27)
50418	火 4	中国語一列②	千葉 謙悟	1 年 理二三(13)
50439	火 5	中国語一列②	石村 広	1 年 理一(22)
50473	水 1	中国語一列②	小方 伴子	1 年 理一(24)
50474	水 1	中国語一列②	波多野 真矢	1 年 理一(26)
50522	水 2	中国語一列②	伊藤 徳也	1 年 文一二(17)
50523	水 2	中国語一列②	波多野 真矢	1 年 文一二(18)
50534	水 2	中国語一列②	吉川 雅之	1 年 文三(12)
50542	水 2	中国語一列②	小野 秀樹	1 年 理一(19)
50547	水 2	中国語一列②	中村 元哉	1 年 理二三(16)
50608	水 3	中国語一列②	中村 元哉	1 年 文三(13)
50741	木 2	中国語一列②	松本 秀士	1 年 文一二(14)
50765	木 2	中国語一列②	下出 宣子	1 年 理一(25)
50806	木 3	中国語一列②	下出 宣子	1 年 文一二(19)
50827	木 3	中国語一列②	河野 直恵	1 年 理二三(15)
50842	木 4	中国語一列②	賈 黎黎	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
50844	木 4	中国語一列②	河野 直恵	1 年 文一二(15)
50845	木 4	中国語一列②	渡辺 剛	1 年 文一二(16)
50921	金 1	中国語一列②	王 英輝	1 年 理一(20)
51020	金 3	中国語一列②	石井 剛	1 年 理一(23)
51033	金 3	中国語一列②	谷垣 真理子	1 年 理二三(14)
51045	金 4	中国語一列②	岩月 純一	1 年 文一二(13)
51055	金 4	中国語一列②	田原 史起	1 年 文三(11)
51064	金 4	中国語一列②	朝倉 友海	1 年 理一(21)
50654	水 4	中国語特修	石井 剛	2 年 文科 理科

基礎科目 ロシア語

ロシア語		開講区分	A	
授業の目標・概要		初修ロシア語の1年目はロシア語の文字からはじめて、ロシア語の基礎文法を修得する。1年を終えるころには簡単なロシア語テキストが自在に読める能力の獲得をめざす。 文系・理系を問わず、共通教科書を使用する。 Sセメスターに学んだ文法の基本を発展させ、さらに新しい文法項目を学ぶとともに、テキストによって読解の基礎をつける。		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Изучаем русский язык с нуля (ロシア語をはじめよう) 著者(訳者) 西中村浩・朝妻恵理子 出版社 朝日出版社		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50209	火 1	ロシア語一列②	鳥山 祐介	1 年 文一二(4)文三(4)理一(4-5)理二三(4) 【TLP】
50415	火 4	ロシア語一列②	渡邊 日日	1 年 理二三(4)
50748	木 2	ロシア語一列②	鳥山 祐介	1 年 理一(4)
50749	木 2	ロシア語一列②	乗松 亨平	1 年 理一(5)
50985	金 3	ロシア語一列②	乗松 亨平	1 年 文一二(4)
51008	金 3	ロシア語一列②	安岡 治子	1 年 文三(4)
50655	水 4	ロシア語特修	丸山 由紀子	2 年 文科 理科

※TLP履修者は、対象クラスでTLPと指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

基礎科目 スペイン語

スペイン語			開講区分	A
授業の目標・概要				
スペイン語初修は、共通教科書『Brújula』を用い、1年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習する。Sセメスターでは、内容を1列（文法）と2列（講読）に分け（今年度はCOVID-19禍により、1列／2列をリレー方式で展開した。）、Aセメスターでは1列で文法・講読の両方を扱う。文系では、外国人教員が担当するクラス指定の演習を設け、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行う。また、スペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを週2回開講する。そのほかに、初級作文や初級会話の科目を開講しており、これらを履修することによりスペイン語の運用能力をさらに高めることができる。				
教科書				
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook				
書名 Brújula-スペイン語学習の羅針盤				
著者（訳者） 東京大学教養学部スペイン語部会				
出版社 朝日出版社				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50039	月 2	スペイン語一列②	松尾 俊輔	1 年 文一二(9)
50061	月 2	スペイン語一列②	栗林 ゆき絵	1 年 理二三(10)
50099	月 3	スペイン語一列②	松尾 俊輔	1 年 理一(16)
50105	月 3	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	1 年 理二三(8)
50131	月 4	スペイン語一列②	松尾 俊輔	1 年 文一二(10)
50159	月 4	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	1 年 理二三(12)
50341	火 3	スペイン語一列②	半澤 忠彦	1 年 文三(10)
50350	火 3	スペイン語一列②	松尾 俊輔	1 年 理二三(11)
50417	火 4	スペイン語一列②	半澤 忠彦	1 年 理二三(9)
50533	水 2	スペイン語一列②	松尾 俊輔	1 年 文三(8)
50540	水 2	スペイン語一列②	高際 裕哉	1 年 理一(13)
50541	水 2	スペイン語一列②	木崎 孝嘉	1 年 理一(18)
50606	水 3	スペイン語一列②	渡辺 暁	1 年 文三(7)
50607	水 3	スペイン語一列②	久住 真由	1 年 文三(9)
50642	水 4	スペイン語一列②	久住 真由	1 年 理一(11)
50643	水 4	スペイン語一列②	木崎 孝嘉	1 年 理一(17)
50753	木 2	スペイン語一列②	愛場 百合子	1 年 理一(10)
50755	木 2	スペイン語一列②	倉田 量介	1 年 理一(15)
50770	木 2	スペイン語一列②	上 英明	1 年 理二三(7)
50799	木 3	スペイン語一列②	倉田 量介	1 年 文一二(11)
50816	木 3	スペイン語一列②	若林 大我	1 年 理一(12)
50850	木 4	スペイン語一列②	渡辺 暁	1 年 理一(9)
50851	木 4	スペイン語一列②	若林 大我	1 年 理一(14)
50994	金 3	スペイン語一列②	有田 美保	1 年 文一二(7)
50995	金 3	スペイン語一列②	松尾 俊輔	1 年 文一二(8)
51044	金 4	スペイン語一列②	和田 佳浦	1 年 文一二(12)
50621	水 3	スペイン語特修	受田 宏之	2 年 文科 理科

基礎科目 韓国朝鮮語

韓国朝鮮語一列②		開講区分	A	
授業の目標・概要		●1年生初修クラス Sセメスターに引き続き、共通教材『ことばの架け橋』を通じて文法と語彙を学んでいき、教科書を終えた後には、さまざまな教材を用いて一年間に学んだ文法知識の応用練習を行います。これらによってAセメスターの授業では、基礎文法を完全に習得した上で、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また基本的な内容ならば自分の考えや意見を正確に表現できる程度の力を身につけることを目指します。 文科生はこのほか総合科目L系列において、韓国人教員が担当する「初級（演習）②」を履修し、基礎知識の応用をはかっていきます。 ●特修クラス これまでに学んだ内容の復習によって、韓国朝鮮語の基本的な能力を身に付けることを目指します。詳しくはUTAS上のシラバスを参照してください。		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『ことばの架け橋』（再改訂試用版） 著者（訳者） 生越直樹・曹喜澈・三ツ井崇		
関連ホームページ		http://phiz.c.u-tokyo.ac.jp/~korea/korea_junior.html		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50052	月 2	韓国朝鮮語一列②	河崎 啓剛	1年 理一(6)
50308	火 3	韓国朝鮮語一列②	三ツ井 崇	1年 文一二(5)文三(5)
50416	火 4	韓国朝鮮語一列②	新井 保裕	1年 理二三(5)
50656	水 4	韓国朝鮮語特修	三ツ井 崇	2年 文科 理科

基礎科目 イタリア語

イタリア語		開講区分	A	
授業の目標・概要		●1年生初修クラス Ⅰ列Ⅱ列では、Aセメスター前半までに、初級文法を一通り習得します。Aセメスター後半ではそれを応用しながら、比較的平易な現代文を中心としたテキストの読解と、接続法・条件法等の文法知識の整理を行います。テキストとして、東京大学イタリア語教材編集委員会編の文法教科書「イタリア語のスタート Italiano... in partenza!」（白水社）を適宜参照しながら、中級読解教科書『ピアッツァ』（東京大学出版局）を主に使用します。あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための演習が必修科目（文系）・国際コミュニケーション科目（理系）として開講されています。「国際コミュニケーション」として、ほかにも初級の会話・作文、テキスト分析Ⅰも開講されているので、積極的に受講してください。 ●既修クラス 総合科目Ⅰ系列「国際コミュニケーション」科目の中・上級科目を既修者の単位として認定しています。 ●授業計画 1年生初修 ―Aセメスター前半 初級文法まとめ Aセメスター後半 講読中心 ●学習上のアドバイス 時間割上可能で意欲的な学習者には、総合科目Ⅰ系列「国際コミュニケーション」で開講される選択科目「初級・中級会話」「初級・中級作文」「読解」「表現練習」等の受講をあわせてすすめます。授業には積極的に参加し、有効な学習としてください。		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習』 著者（訳者） 東京大学イタリア語教材編集委員会編 出版社 白水社		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50309	火 3	イタリア語一列②	池上 俊一	1年 文一二(6)
50538	水 2	イタリア語一列②	宮坂 真紀	1年 理一(8)
50605	水 3	イタリア語一列②	宮坂 真紀	1年 文三(6)
50813	木 3	イタリア語一列②	山崎 彩	1年 理一(7)
50825	木 3	イタリア語一列②	村松 真理子	1年 理二三(6) 奇
50826	木 3	イタリア語一列②	宮坂 真紀	1年 理二三(6) 偶
50657	水 4	イタリア語特修	村松 真理子	2年 文科 理科

基礎科目 日本語

日本語			開講区分	A	
授業の目標・概要		[注意事項] ● 日本語を、前期課程外国語科目の既修外国語、或は、[既修・既修選択]の初修外国語相当として選択した学生は、基礎科目一列② [必修科目] の授業に初回授業から必ず出席すること。 ● 新カリキュラムにおける日本語科目（基礎科目一列、二列 C、二列 P、総合科目 L 系列）の履修方法等について、基礎科目一列② の初回授業で説明があるので、必ず出席し説明を受けること。 ● 総合科目 L 系列科目(A1, A2)の登録について、UTAS や授業での指示に留意し従うこと。 ----- ● 基礎科目 日本語一列② 1 年生 既修外国語 （初修扱い外国語） 『テーマで考え議論する日本語 後半 -Active Learning in Academic Japanese -』 文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ、読解・聴解、資料収集、調査、協働タスク、ディスカッション、プレゼンテーション、要旨・レジメ執筆等、様々な能動的な協働活動を通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を適格に理解する力、資料を分析しデータや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、能動的学習力を養う。 総合科目 L 系列においては、相互に相補的な授業活動を行う。日本語科目カリキュラム全体・総合科目カリキュラム全体として、様々な分野・目的での四技能の習得・上達にバランス良く資するための授業を設定し、各々の総合科目 L 系列授業において、それぞれ特徴をもつ授業活動を行う。各授業の特徴・焦点目標については、UTAS の各シラバス参照。 総合科目 L 系列(一部)において、一列授業で扱うテーマ・内容・活動と連動しつつ、相互に相補的な活動を行う。 『基礎科目 日本語一列』で扱うテーマやそのテーマでの読解・聴解・協働タスク・ディスカッション等の活動と連動して、一方で、正確な精読、構文・語彙習得（要約・文作・文章構成等、ライティングを含む）のための活動を行い、一方で、アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション・発音演習やレポート執筆・論文執筆等、それぞれに特徴をもつ授業活動を行う。 ● 総合科目 L 系列『日本語上級』 A1 ターム 「テーマで考え議論する日本語 2：精読、構文・語彙習得・ライティング中心」（基礎科目 日本語一列②と連動） 「アカデミックプレゼンテーションのための発音」 「アカデミックライティング（1）－日本語の短編小説を読み、エッセイを書く」 「Academic Writing for Science 1 理系のアカデミック・ライティング 1（準備編）」 「アカデミックライティング（5）－表現学習のためのツール－」 ● 総合科目 L 系列『日本語上級』 A2 ターム 「テーマで考え議論する日本語 2：レポート執筆・発表プレゼンテーション中心」（基礎科目 日本語一列②と連動） 「アカデミックプレゼンテーションのための発音」 「アカデミックライティング（2）－日本語の短編小説を批判的に読んで書評をまとめる」 「Academic Writing for Science 2 理系のアカデミック・ライティング2（実践編）」 「アカデミックライティング（6）－ツールを用いた構成と形式の実践－」 「近代日本の童話を読む」			
教科書		その他。／Other			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること					
時間割コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50242	A	火 2	日本語一列②	藤井 聖子	1 年 文科 理科
50935	A	金 2	日本語一列②	藤井 聖子	1 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習Ⅱ

身体運動・健康科学実習Ⅱ		開講区分		A	
授業の目標・概要		週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室 出版社 東大出版会			
履修上の注意		種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。			
学習上のアドバイス		盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。			
関連ホームページ		https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること					
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス	
50043	月 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文三(4,11,16)理一(10-11,15,19,25-26)理二三(4,8)	
50307	火 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(4,8)文三(18)理一(14,17,20,28,34-35,37-38)	
50366	火 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(1-3,5,11-12,25)文三(1-3,14-15,17) 理二三(1-3,7,12,17,19)	
50564	水 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(6-7,14-15)文三(8)理一(7,9,22,27,30)	
50636	水 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(16,26-28)文三(9)理一(13,16)理二三(16,20-22)	
50747	木 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 理一(1-3,12,31-33)理二三(5-6,9-11,15,24)	
50790	木 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(9,18,23)文三(6,12)理一(4-5,18)理二三(13-14,23)	
50996	金 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(10,13,17,19-20,24)文三(5,7,10) 理一(21,36)理二三(18)	
51046	金 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(21-22)文三(13,19-20)理一(6,8,23-24,29,39)	

身体運動・健康科学実習Ⅱ（メデ ィカル）

身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカル）			開講区分	A
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室 出版社 東大出版会			
学習上のアドバイス	盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。			
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50001	月 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカル）3	実技担当	1 年 文科 理科
50170	月 5	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカル）1	実技担当	1 年 文科 理科
50223	火 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカル）3	実技担当	1 年 文科 理科
50481	水 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカル）2	実技担当	1 年 文科 理科

基礎科目 社会科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50113	A	法Ⅱ	小粥 太郎	法・政治	月 3	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三
講義題目		民法について、適宜素材を取捨選択しつつ、簡素な全体像を示したい。 この作業のなかで、法、法の解釈、裁判、立法、法学の意義等に論及する。				
授業の目標概要		立法、裁判、法学研究など、法にかかわる人間の営みの一端を知る。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50458	A	法Ⅱ	小粥 太郎	法・政治	水 1	1 年 文一(1-13) 2 年 文一
講義題目		民法について、適宜素材を取捨選択しつつ、簡素な全体像を示したい。 この作業のなかで、法、法の解釈、裁判、立法、法学の意義等に論及する。				
授業の目標概要		立法、裁判、法学研究など、法にかかわる人間の営みの一端を知る。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50459	A	法Ⅱ	福岡 安都子	法・政治	水 1	1 年 文一(14-21) 2 年 文一
講義題目		公法学のテキストを読む				
授業の目標概要		【文一のみ履修可】 「法Ⅰ」で法学につき基礎的知識を習得したことを前提に、引き続き、公法学分野の具体的素材とその読解を通じて、より多角的に法学に対してアプローチすることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50460	A	法Ⅱ	両角 吉晃	法・政治	水 1	1 年 文一(22-28) 2 年 文一
講義題目		法律文献を読む				
授業の目標概要		【文一のみ履修可】 法Ⅰの授業で法律・法学についての基本的な知識を習得したことを前提に、判例や法学論文、さらに関連する分野の諸文献を読むことを通して、法学を学ぶための基礎的能力を向上させることを目標とします。比較法および法制史に関するテーマにも適宜言及します。 13回の授業のうち2回はフット先生による英語の授業を予定しています。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50114	A	政治Ⅱ	伊藤 武	法・政治	月 3	1 年 文一 2 年 文一
講義題目		比較政治入門～先進国デモクラシーの政治				
授業の目標概要		この授業では、先進国を中心としたデモクラシーを素材に、比較政治学の基礎から発展の入り口までを学びます。 比較政治学は、特定の国や事例を見るだけでは分からない論理や特徴を、比較の手法や理論を用いて明らかにする学問です。授業では、選挙や政党政治のように従来重要とされてきた分野だけでなく、ポピュリズムや専門家の役割など最近特に注目される新分野も扱います。欧米を含む先進国のデモクラシーがこれまで経験し、今抱えている問題は何か、それを解くにはどうしたらよいか、比較と理論の力を借りて考えていきましょう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50482	A	政治Ⅱ	木宮 正史	法・政治	水 1	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三
講義題目 授業の目標概要	政治学の基礎概念と危機の政治学 1 「政治とは何か」「何のために政治学を勉強するのか」という根本的な問いから始まって、政治権力(political power)、政治体制 (political regime)、国家(state)、民主主義 (democracy)、政党(political party)、選挙(election)及び投票行動(voting behavior)など、政治を理解するために必要な基本的な諸概念に関する理解を深め、今後、政治に関する種々の現象を分析するのに必要な基礎を身につける。 2 以上の問題の根底にあるのは、民主主義 (democracy) とは何であり、それがどのように機能しているのかいないのかということであるこうした民主主義 (democracy) に関する既存の見方をふまえたうえで、その現代的意味についても考察を深めることにする。 3 ますます緊密度を深める政治と経済との関係について、歴史的な展開過程やいくつかの争点を選んで考察を深める。 4 2020 年は、世界全体を新型コロナ危機は席卷し、グローバル化の趨勢に歯止めがかけられ、各国のナショナルな対応が顕著になった。にもかかわらず、危機への対応に関する各国のパフォーマンスには顕著な差も見られた。なぜ、このような違いが生まれたのかを、比較政治学の見地から分析を試みる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50115	A	経済Ⅱ	竹野 太三	経済・統計	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	経済学Ⅱ 経済学で最も基礎的な理論である価格理論の概要を学びます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50445	A	経済Ⅱ	中西 徹	経済・統計	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	国際経済の諸問題 グローバル化が深化してきた現代社会が直面する国際貿易、国際金融、国際開発における具体的な諸問題の考察を通じて、経済学の考え方や分析の枠組みについて理解する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50116	A	社会Ⅱ	井上 彰	社会・社会思想史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	分析的政治哲学入門 本授業では、現代英米圏を中心に、政治理論においてメインストリームを形成している「分析的政治哲学」について学習する。分析的政治哲学とは、19 世紀に生まれ、20 世紀初頭から飛躍的な発展を遂げた分析哲学の道具立てを用いて、政治哲学上の鍵概念である「正義」「自由」「平等」等の構成要件を解明し、それらの主題や適用範囲を明らかにする学問領域である。本授業では、20 世紀を代表する分析的政治哲学者である J・ロールズの議論をおさえたうえで、そこから発展した様々な論争の検討を通じて、分析的政治哲学の主題や鍵概念の適用範囲をめぐる議論についてわかりやすく解説する。その射程は、グローバル正義論や地球環境（排出権）問題、そして移民問題といった具体的な論点も含まれる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50483	A	数学Ⅰ	坂井 秀隆	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	数学Ⅰ 文科学向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50484	A	数学Ⅱ	志甫 淳	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学Ⅱ 文科生向けの、ベクトルと行列に関する基礎的な内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論Ⅱ」で学ぶことができる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50485	A	数学Ⅱ	関口 英子	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学Ⅱ 文科生向けの、ベクトルと行列に関する基礎的な内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論Ⅱ」で学ぶことができる。				

基礎科目 人文科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50117	A	哲学Ⅱ	國分 功一郎	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	意志と責任について——中動態から考える 古代の言語が有した「中動態 Middle Voice」という態の分析を通じて、「意志」、「責任」、「行為」、「権力」、「選択」などの概念について考えます。哲学をベースとしつつ、言語学、医学、政治理論など多分野の研究成果を参考にしながら進めていく講義になります。 私たちはいつも行為を能動と受動に分類します。「する」なら能動、「される」なら受動です。しかし実際の行為はそう簡単にどちらかに分類できるものではありません。たとえば哲学者ハンナ・アレントは、銃で脅された人が自分のお金を相手に手渡すという行為について分析していますが、この行為は能動でしょうか受動でしょうか。同様の例はいくらでもあげることができるでしょう。 能動と受動の区別は、私たちが英文法などで学ぶ能動態と受動態の区別に由来するものと考えられます。私たちが学んだのは、態には能動態の受動態の二つがあり、そしてその二つしかないということです。一度この区別に親しんでしまうと、これは必須のものに思えてきます。しかし言語学者エミール・バンヴェニストが明らかにしたように、この区別は少しも普遍的ではなく、多くの言語がこの区別を知りません。 また歴史的に見ても、比較的新しい時代につくられた区別であることが分かっています。というのも、かつて印欧語の動詞は、能動態と受動態の対立ではなく、能動態と中動態の対立の中にあっただからです。動詞の意味は今とは全く異なる仕方では配分されていました。言い換えれば、動詞は途方もない変革を経て今に至っているということです。 この変革はなぜ起こったのでしょうか？ この問いを突き詰めていくと、それが「意志」と「責任」という概念に関わっていることが分かります。またこの問いを通じて、様々な哲学者の概念に接近することができます。ミシェル・フーコーの「権力」、マルティン・ハイデガーの「放下」、スピノザの「自由」など、様々な哲学者の概念が中動態と深い関係にあるからです。 これらの哲学者の助けを借りながら、上にキーワードとして掲げた「意志」「責任」「行為」「権力」「選択」を分析していきます。これらはいずれも現代社会を考える上で避けて通ることのできない概念です。この講義は、現代社会の諸問題に古代の言語から迫っていく試みであると言えます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50446	A	哲学Ⅱ	山本 芳久	哲学・科学史	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	哲学の原典を読む 西洋哲学の基礎を、その原点に即しながら学ぶ。具体的には、古代ギリシアの哲学者アリストテレスの『ニコマコス倫理学』と、西洋中世の哲学者トマス・アクィナスの『神学大全』を中心に、基本的なテキストを抜粋し、日本語で丁寧に読解していく。関連する範囲で、他の哲学者のテキストも読解する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50118	A	倫理Ⅱ	田中 智彦	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	〈いのち〉と〈ひと〉のいまを問う In order to have a sense of who we are, we have to have a notion of how we have become, and of where we are going. Charles Taylor 私たちは今日、いのちとひとをめぐって倫理的にどのような状況にあるのだろうか。またその状況は、どのようにして今日あるようになったのだろうか。どのような明日をもたらさうのだろうか。 この授業ではこうした問いについて考えてゆきたい。その過程において、私たちの生・病・老・死を取り囲んでいるいわば「4 つの bio」——生権力 (biopower)・生政治 (biopolitics)・生命倫理 (bioethics)・生命科学技術 (biotechnology)——を歴史的・批判的に検討することになるだろう。 したがって、倫理の諸理論を概説するという形はとらない。むしろ過去の、また現在の具体的な事例をとりあげ、そこにどのような問題を見いだすか、それらをどのように考えるかに関して一つの視座を示すことをつうじて、受講者一人ひとりが「ひととして限りあるいのちをいかに生きるべきか」という問いを自ら探究する手がかりを提供したいと思っている。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50447	A	歴史Ⅰ	黛 秋津	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	歴史学の思考法（1） 「歴史を学んで何になるんだろう」——年号や人名の暗記に苦しんだ受験勉強の最中に、そんな風に思ったことはないだろうか。しかし歴史学とはもちろん暗記ではない。「史料に基づき過去の人間生活の事象を研究する学問」である。それは専門的な学問領域であると同時に、“歴史学的にみる・考える”という普遍的な思考力を身に付けるためのトレーニングでもある。物事を常に長期的な視野で見る姿勢、経験不可能な物事に対するリアルな推測力、「現在」を相対的に視る力——歴史学によって必然的に養われるこれらの力（＝歴史学的思考）は、過去を振り返るときだけでなく、今を生き、未来を踏み誤らないためにも必要不可欠のものだろう。 こうした認識に基づき、前期課程の学生が、歴史学的思考法とは何かを知り、“歴史学的にみる・考える”力を養うことができるよう、教養学部の歴史学教員は、「歴史Ⅰ：歴史学の思考法（1）」と「歴史Ⅱ：歴史学の思考法（2）」のふたつの授業をリレー講義形式で行うことにした。いずれも5名ずつの教員からなり、両方受講しても、いずれか一方を受講しても差し支えないよう、内容やバランスを加味して構成してある。 歴史学の研究とは、どのような発想と手法によって進められ、その結果どのような歴史像が描き出されるのか。歴史学を専門的に学びたい学生ばかりでなく、歴史学的思考法を身につけたいと考えるすべての文科生に受講してほしい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50448	A	歴史Ⅱ	山口 輝臣	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	歴史学の思考法（2） 「歴史を学んで何になるんだろう」——年号や人名の暗記に苦しんだ受験勉強の最中に、そんな風に思ったことはないだろうか。しかし歴史学とはもちろん暗記ではない。「史料に基づき過去の人間生活の事象を研究する学問」である。それは専門的な学問領域であると同時に、“歴史学的にみる・考える”という普遍的な思考力を身に付けるためのトレーニングでもある。物事を常に長期的な視野で見る姿勢、経験不可能な物事に対するリアルな推測力、「現在」を相対的に視る力——歴史学によって必然的に養われるこれらの力（＝歴史学的思考）は、過去を振り返るときだけでなく、今を生き、未来を踏み誤らないためにも必要不可欠のものだろう。 こうした認識に基づき、前期課程の学生が、歴史学的思考法とは何かを知り、“歴史学的にみる・考える”力を養うことができるよう、教養学部の歴史学教員は、「歴史Ⅰ：歴史学の思考法（1）」と「歴史Ⅱ：歴史学の思考法（2）」のふたつの授業をリレー講義形式で行うことにした。いずれも5名ずつの教員からなり、両方受講しても、いずれか一方を受講しても差し支えないよう、内容やバランスを加味して構成してある。 歴史学の研究とは、どのような発想と手法によって進められ、その結果どのような歴史像が描き出されるのか。歴史学を専門的に学びたい学生ばかりでなく、歴史学的思考法を身につけたいと考えるすべての文科生に受講してほしい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50449	A	ことばと文学Ⅱ	田口 一郎	国文・漢文学部会	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	中国古典文学略史 中国古典文学の歴史を概観する。 唐・宋から明・清にかけての文学の特徴と変遷を理解し、基本的知識（作品・作者等）を身につける。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50450	A	ことばと文学Ⅲ	出口 智之	国文・漢文学部会	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	明治文学と口絵・挿絵 日本近代文化の研究はこれまで、小説と口絵・挿絵とが分断される形で行われてきたし、近代文学を収めた現行の書籍のほとんど、絵画は省いた形で流通している。しかし実際には、江戸以来の伝統を引継ぎ、小説はつねに絵画とセットで読者のもとに届けられていた。加えて、これまでほとんど明らかにされてこなかったが、明治時代の多くの文学者たちは自作に附される口絵・挿絵に指示を出しており、そのことを前提に小説を書いてすらいた。すなわち、明治文学の理解のためには、小説と口絵・挿絵とをセットで考えることが欠かせない。 本講義ではこうした視点に立って、おもに明治期の作品を新しい角度から検討するとともに、文学研究・美術史研究・出版史研究・メディア研究などに分断・細分化されてきた研究領域を越境する視点と発想を示してゆきたい。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50119	A	ことばと文学Ⅳ	石原 あえか	ドイツ語	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		「科学する詩人＝自然研究者としてのゲーテ 自然科学と文学のはざまで」 ドイツを代表する詩人とされるゲーテ（1749-1832）の名前や作品名はすぐ思い浮かんでも、「彼の作品そのものはまだ読んだことがない」という人も多いのではないのでしょうか？ また〈文豪〉というイメージから、いつも書斎の机に向かって原稿を書いている姿を連想しがちなのでは？ でも実際の詩人ゲーテはむしろアクティブで、しかも彼の詩作品には、当時の自然科学知識が豊富に使われています。この授業では、高校までの授業、あるいはおそらく一般に言う「趣味の読書」とは異なる、大学ならではの作品解釈のひとつとして、〈自然科学〉あるいは〈科学史〉をキーワードとした方法を提示します。言い換えれば、作品の成立背景・時代考証などを行うことによって、200 年以上前に書かれたテキストをどれだけ理解し、楽しめるか、またゲーテ作品の現代に通じる意味や重要性を考える訓練をしてみたいと思います。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50120	A	心理Ⅱ	本吉 勇	心理・教育学	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 人間は、環境から受け取った光や音の情報をもとに、外界のモノや出来事を認識し、過去の記憶や与えられた状況に応じて適切に反応し、また他の人間と相互作用することができる。このすぐれて知的な能力はすべて脳の情報処理によるものである。認知科学(cognitive science)とは、心理学・神経生理学・情報工学が密接に結びつきながら、その仕組みを解明し制御することをめざす巨大な学問領域である。 本講義では、多くの錯覚デモや模擬実験を体験しながら、知覚、認識、記憶、感情、思考、社会性といった「人の心の基本的な仕組み及び働き」を支えている脳情報処理の原理原則と、その背後にある生理学的・計算論的メカニズムの基礎を学ぶ。それによって、進化と学習が生み出した優れた情報処理マシンとしての脳と人間を理解するための視点を身につけることをめざす。人工知能を含めた現代と未来の脳工学技術や「心理学の成り立ち」にも触れる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50486	A	心理Ⅱ	伊村 知子	心理・教育学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 ヒトの心は発達とともに変化するものであると同時に環境への適応をとおして形づくられた進化の産物である。この講義では、発達と進化の視点から心の成り立ちをとらえる比較認知科学の立場から、人間の心の基本的な仕組み及び働き、人間に固有の心の特徴とその進化的起源、心の普遍性と多様性について理解を深めるとともに、人間とは何かという問いについて考える。				

基礎実験

基礎実験		開講区分	A 1 / A 2
授業の目標・概要	自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。 1) 将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする。 2) 基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。 3) 未知の自然現象の解明を目的とする研究実験に必要な観察力・姿勢を養い、みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。		
授業の方法	月曜から金曜の指定された曜日に週 1 回受講する。実施日程、実験種目ローテーション、事前準備などに関しては、UTAS もしくは ITC-LMS に掲示するので、前もって確認しておくこと。		
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『基礎物理学実験』、 『基礎化学実験』 著者（訳者） 基礎物理学実験テキスト編集委員会、教養学部化学部会 出版社 学術図書出版社、 東京化学同人		
履修上の注意	過去ノートの持ち込みはカンニング行為とみなす。 実験室内は飲食禁止。		
関連ホームページ	https://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/kisobutsurigakujikken/ http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/chemistry/exp/index.html		
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
50074	A 1	月 3, 月 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
50344	A 1	火 3, 火 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
50612	A 1	水 3, 水 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
50814	A 1	木 3, 木 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
51018	A 1	金 3, 金 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
60004	A 2	月 3, 月 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
60030	A 2	火 3, 火 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
60078	A 2	水 3, 水 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
60084	A 2	木 3, 木 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
60089	A 2	金 3, 金 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
50075	A 1	月 3, 月 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
50345	A 1	火 3, 火 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
50613	A 1	水 3, 水 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
50815	A 1	木 3, 木 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
51019	A 1	金 3, 金 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
60005	A 2	月 3, 月 4	基礎実験 II (化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
60031	A 2	火 3, 火 4	基礎実験 II (化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
60079	A 2	水 3, 水 4	基礎実験 II (化学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
60085	A 2	木 3, 木 4	基礎実験 II (化学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
60090	A 2	金 3, 金 4	基礎実験 II (化学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
50103	A 1	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(5-6,9,11) 奇数
50348	A 1	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 奇数
50618	A 1	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 奇数
50823	A 1	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(4,8,19-20,22) 奇数
51030	A 1	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-3,7,12-13,23) 奇数
60006	A 2	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(5-6,9,11) 偶数

基礎実験

60032	A 2	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 偶数
60080	A 2	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 偶数
60086	A 2	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(4,8,19-20,22) 偶数
60091	A 2	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-3,7,12-13,23) 偶数
50104	A 1	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(5-6,9,11) 偶数
50349	A 1	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 偶数
50619	A 1	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 偶数
50824	A 1	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(4,8,19-20,22) 偶数
51031	A 1	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-3,7,12-13,23) 偶数
60007	A 2	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(5-6,9,11) 奇数
60033	A 2	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 奇数
60081	A 2	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 奇数
60087	A 2	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(4,8,19-20,22) 奇数
60092	A 2	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-3,7,12-13,23) 奇数

微分積分学②

微分積分学②		開講区分	A
授業の目標・概要		代数学、幾何学とともに、数学の根幹をなす解析学について、その基本的な考え方や方法を学ぶ。力学における運動方程式などに代表されるように、自然界の多くの現象が、微分積分学を用いて記述される。微分積分学は、あらゆる科学技術の基礎となっている。微分積分学は17世紀末に、ニュートンやライプニッツらによって創成された。ニュートンは量の変化の記述に注目し、速度、加速度などの物理量を表現するために微分の概念を導入した。「微分積分学の基本定理」により、区分求積法によって定義される積分は、微分の逆操作であることが、明確に認識されるようになった。 微分積分学では、極限をとること、無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす。このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は、19世紀後半から整えられていった。この授業では、「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき、微分積分学の基礎と応用を学ぶ。具体的な項目は以下の通りである。S2タームで項目1,2を扱い、Aセメスターで項目3～6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。 1. 一変数関数の微分 (微分の基本性質、テーラーの定理、テーラー展開) 2. 多変数関数の微分 (偏微分と全微分、合成関数の微分の連鎖律) 3. 多変数関数の微分 (続き) (高階偏微分、多変数のテーラーの定理とその応用) 4. 一変数関数の積分 (区分求積法、微分積分学の基本定理) 5. 多変数関数の積分 (多重積分と累次積分、多重積分の変数変換公式) 6. 無限級数と広義積分 (関数列の収束、広義積分) 実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は、2年次Sセメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる。将来、本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる。なお、「解析学基礎」は1年次Sセメスターでも履修することができる。また、2年次Sセメスターの総合科目として、「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学続論」、および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」、「ベクトル解析」が開講される。	
関連ホームページ		https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/calculus.html	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50062	月 2	金井 雅彦	1 年 理二三(14-17)
50063	月 2	山浦 義彦	1 年 理二三(18-20)
50064	月 2	岩木 耕平	1 年 理二三(21-24)
50153	月 4	高山 茂晴	1 年 理一(20-23)
50154	月 4	松田 茂樹	1 年 理一(24-27)
50155	月 4	WILLOX RALPH	1 年 理一(28-31)
50156	月 4	吉野 太郎	1 年 理一(32-35)
50157	月 4	小木曾 啓示	1 年 理一(36-39)
50408	火 4	大坪 紀之	1 年 理一(1,17-19)
50409	火 4	大場 清	1 年 理一(2,4-5,8)
50410	火 4	三竹 大寿	1 年 理一(3,11-13)
50411	火 4	津田 照久	1 年 理一(6-7,9-10)
50412	火 4	斉藤 義久	1 年 理一(14-16)
50615	水 3	岡崎 龍太郎	1 年 理二三(1-7)
50616	水 3	三竹 大寿	1 年 理二三(8-10)
50617	水 3	辻 雄	1 年 理二三(11-13)

線型代数学②

線型代数学②		開講区分	A
授業の目標・概要		線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的、統一的に扱う手法として発明された。また、行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された。ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり、その意味で線型代数学の歴史は古い。しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され、数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく、20世紀にはいつてのことであった。自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが、一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり、線型代数学の考え方は非常に有効である。また、量子力学や、フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており、線型代数学の応用については枚挙にいとまがない。このように、線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと、工学、農学、医学、経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており、応用範囲も広い。線型代数学は理論的には単純で明快であるが、その反面、抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある。線型代数学を身につけるには、演習などのさまざまな問題にあたり、理解を深めることが必要である。「数理科学基礎」において学んだベクトルと線型写像に関する知識を前提とする。S2タームでUTASシラバス「授業計画」の項目1,2を扱い、Aセメスターで項目3～6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。	
関連ホームページ		https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/linear_algebra.html	
※講義の詳細については、UTASを参照すること			
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50475	水 1	河澄 響矢	1 年 理二三(1-7)
50476	水 1	小林 正典	1 年 理二三(8-10)
50477	水 1	植野 義明	1 年 理二三(11-13)
50478	水 1	村上 順	1 年 理二三(14-17)
50479	水 1	高木 俊輔	1 年 理二三(18-20)
50480	水 1	白石 潤一	1 年 理二三(21-24)
50817	木 3	飯田 正敏	1 年 理一(20-23)
50818	木 3	寺田 至	1 年 理一(24-27)
50819	木 3	山崎 満	1 年 理一(28-31)
50820	木 3	梶原 健	1 年 理一(32-35)
50821	木 3	下川 航也	1 年 理一(36-39)
51012	金 3	入江 慶	1 年 理一(1,17-19)
51013	金 3	関口 英子	1 年 理一(2,4-5,8)
51014	金 3	戸瀬 信之	1 年 理一(3,11-13)
51015	金 3	松井 千尋	1 年 理一(6-7,9-10)
51016	金 3	竹内 知哉	1 年 理一(14-16)

微分積分学演習・線型代数学演習

微分積分学演習・線型代数学演習					
授業の目標・概要		数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく、自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある。この2つの科目は微分積分学や線型代数学の講義と一体であり、練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け、応用力を養う。講義内容に即した応用問題の他に、講義の理解を深めるための証明問題や、講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある。			
関連ホームページ		https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/			
※講義の詳細については、UTAS も参照すること					
時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50107	A	月 3	微分積分学演習	今野 北斗	1 年 理二三(14-17)
50108	A	月 3	線型代数学演習	鮑 園園	1 年 理二三(14-17)
50109	A	月 3	微分積分学演習	鮑 園園	1 年 理二三(18-20)
50110	A	月 3	線型代数学演習	高木 俊輔	1 年 理二三(18-20)
50111	A	月 3	微分積分学演習	間瀬 崇史	1 年 理二三(21-24)
50112	A	月 3	線型代数学演習	間瀬 崇史	1 年 理二三(21-24)
50429	A	火 5	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理一(1,17-19)
50430	A	火 5	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理一(1,17-19)
50431	A	火 5	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理一(2,4-5,8)
50432	A	火 5	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理一(2,4-5,8)
50433	A	火 5	微分積分学演習	三竹 大寿	1 年 理一(3,11-13)
50434	A	火 5	線型代数学演習	中村 勇哉	1 年 理一(3,11-13)
50435	A	火 5	微分積分学演習	津田 照久	1 年 理一(6-7,9-10)
50436	A	火 5	線型代数学演習	松井 千尋	1 年 理一(6-7,9-10)
50437	A	火 5	微分積分学演習	斉藤 義久	1 年 理一(14-16)
50438	A	火 5	線型代数学演習	竹内 知哉	1 年 理一(14-16)
50647	A	水 4	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(1-7)
50648	A	水 4	線型代数学演習	河澄 響矢	1 年 理二三(1-7)
50649	A	水 4	微分積分学演習	三竹 大寿	1 年 理二三(8-10)
50650	A	水 4	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(8-10)
50651	A	水 4	微分積分学演習	辻 雄	1 年 理二三(11-13)
50652	A	水 4	線型代数学演習	田中 雄一郎	1 年 理二三(11-13)
50852	A	木 4	微分積分学演習	中村 勇哉	1 年 理一(20-23)
50853	A	木 4	線型代数学演習	中村 勇哉	1 年 理一(20-23)
50854	A	木 4	微分積分学演習	山本 宏子	1 年 理一(24-27)
50855	A	木 4	線型代数学演習	寺田 至	1 年 理一(24-27)
50856	A	木 4	微分積分学演習	WILLOX RALPH	1 年 理一(28-31)
50857	A	木 4	線型代数学演習	山崎 満	1 年 理一(28-31)
50858	A	木 4	微分積分学演習	吉野 太郎	1 年 理一(32-35)
50859	A	木 4	線型代数学演習	梶原 健	1 年 理一(32-35)
50860	A	木 4	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理一(36-39)
50861	A	木 4	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理一(36-39)

数理科学基礎（補修）

数理科学基礎（補修）					
授業の目標・概要		科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び，高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする。 講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなる．本科目の講義内容は S2 タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する．			
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time			
関連ホームページ		https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ms_sl.html			
※講義の詳細については、UTAS も参照すること					
時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50171	A	月 5	数理科学基礎（補修）	寺田 至	1 年 理科 2 年 理科
50671	A	水 5	数理科学基礎（補修）	高山 茂晴	1 年 理科 2 年 理科

電磁気学A

電磁気学A		開講区分	A
授業の目標・概要		電気・磁気の法則を電荷やその運動による電流が作り出す電磁場の法則として捉える事によって、電磁気現象を統一的に理解し、基礎方程式としてのマクスウェル方程式に至る。また、代表的な例題の解法を通じて、その内容と応用の理解を深める。 主な項目は以下の通りであるが、 実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。 1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存 2.静電場 ・クーロンの法則とガウスの法則 ・電位とその性質 ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理） ・導体系 ・静電場のエネルギーとストレス 3.定常電流 ・オームの法則、連続の方程式 ・回路への応用（キルヒホフの法則） ・ジュール熱 4.定常電流による磁場 ・アンペールの法則 ・静磁場の微分方程式 ・ベクトルポテンシャル ・ビオー・サヴァールの法則 ・円電流と等価磁石 ・単位系 5.電磁誘導とマクスウェル方程式 ・ファラデー・レンツの法則 ・変位電流と連続の方程式 ・マクスウェル方程式 ・電磁場のエネルギーと仕事 ・平面電磁波 ・準定常電磁場と交流回路 ＊6.物質中の電磁場 ＊考え方：分極電荷、磁化電流 ＊誘電体、磁性体（常磁性、反磁性、強磁性） ＊異なった物質の間の境界条件 ＊物質中の電磁場エネルギー	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50535	水 2	下村 裕	1 年 理一(1-2,30-32)
50537	水 2	深津 晋	1 年 理一(3-6)
50544	水 2	大川 祐司	1 年 理一(33-35)
50545	水 2	多田 司	1 年 理一(37-39)
50546	水 2	大井 万紀人	1 年 理二三(1-3,7-8,11)
50548	水 2	森松 治	1 年 理二三(19-20,22,24)
50751	木 2	金澤 直也	1 年 理一(7-9)
50763	木 2	前田 京剛	1 年 理一(19,21-22)
50764	木 2	下村 裕	1 年 理一(23-24,26)
50766	木 2	守田 佳史	1 年 理一(27-29)
50769	木 2	竹内 誠	1 年 理二三(4,12-13,16)
50771	木 2	小林 研介	1 年 理二三(14,17-18,23)
51058	金 4	秋山 英文	1 年 理一(10-12)
51060	金 4	石原 秀至	1 年 理一(13-15)
51061	金 4	大谷 宗久	1 年 理一(16-18)
51063	金 4	年吉 洋	1 年 理一(20,25,36)
51071	金 4	藤山 茂樹	1 年 理二三(5-6,9)
51072	金 4	町田 友樹	1 年 理二三(10,15,21)

電磁気学B

電磁気学B			開講区分	A
授業の目標・概要 入学試験で物理学を選択しなかった学生で希望する者を対象とする。 高等学校で未履修であること前提とした講義を行う。 講義では演習、宿題等を十分に課する。 目的は大学レベルの電磁気学を習得してもらう事である。入試において物理学を選択したものは受講資格がない。主な内容は以下の通り。 1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存 2.静電場 ・クーロンの法則とガウスの法則 ・電位とその性質 ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理） ・導体系、導体に働く力、静電場のエネルギーとストレス 演習 3.定常電流 ・オームの法則、連続の方程式 ・回路への応用（キルヒホフの法則） ・ジュール熱 4.定常電流による磁場 ・アンペールの法則 ・ビオー・サヴァールの法則 ・電流に働く力 ・円電流と等価磁石 ・磁場のエネルギー ・単位系 5.時間的に変動する電磁場 ・ファラデー・レンツの電磁誘導の法則 ・交流回路 6.変位電流とマクスウェル方程式 ・変位電流と電荷の保存 ・マクスウェル方程式（積分形） ・平面電磁波 演習 ※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス	
50536	水 2	米谷 民明	1 年 理一(1-6,30-35,37-39)理二三(1-3,7-8,11,19-20,22,24)	
50752	木 2	菊川 芳夫	1 年 理一(7-9,19,21-24,26-29)理二三(4,12-14,16-18,23)	
51059	金 4	國場 敦夫	1 年 理一(10-18,20,25,36)理二三(5-6,9-10,15,21)	

構造化学

構造化学		開講区分	A
授業の目標・概要		物質の多様な構造や性質，反応を体系的に理解するには，原子や分子に基づいた化学的な考察が不可欠である．本講義では，初歩的な量子論に基づいて，原子の構造や周期律，分子の化学結合の基礎を学ぶ．理論的な基礎だけでなく，契機となった実験結果や身近な物質・現象を通して理解を深めることを目指す．各教員が共通して取り上げる具体的な項目は，下記の通りである． 1. 量子論の必要性 ・原子の発光スペクトル(離散的なエネルギー準位，Bohr 原子) ・電子の粒子性と波動性(電子回折，物質波) 2. 量子論の基礎 ・Schrödinger 方程式(原子・分子の量子論の出発点) ・1次元箱中の電子(ポリエンの吸収スペクトルと色) ・2原子分子の振動(振動スペクトルと分子構造) 3. 原子の構造と性質 ・水素原子(量子数，エネルギー準位，原子軌道) ・Pauli の排他原理(電子スピン) ・多電子原子(元素の周期律と構成原理) 4. 化学結合と分子 ・水素分子イオン(分子軌道，化学結合) ・2原子分子(分子の性質と電子構造)	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50055	月 2	立川 仁典	1 年 理一(5,20,33-34)
50056	月 2	十代 健	1 年 理一(21-22,31)
50060	月 2	村田 昌之	1 年 理二三(5-6,9,11)
50100	月 3	山口 和也	1 年 理一(17,29-30,35)
50106	月 3	横川 大輔	1 年 理二三(10,12-13)
50211	火 1	河野 淳也	1 年 理一(7,12,27)
50217	火 1	青木 優	1 年 理二三(7,15,20)
50342	火 3	齊藤 圭亮	1 年 理一(8,11,13)
50347	火 3	小安 喜一郎	1 年 理二三(4,8,14,18)
50351	火 3	横川 大輔	1 年 理二三(19,22-23)
50610	水 3	中田 真秀	1 年 理一(4,16,18-19)
50614	水 3	澁田 靖	1 年 理一(24,28,36,38)
50641	水 4	石井 邦彦	1 年 理一(10,14-15)
50644	水 4	奥野 将成	1 年 理一(23,25-26)
50645	水 4	小島 達央	1 年 理一(32,37,39)
50812	木 3	安池 智一	1 年 理一(1-3,6,9)
50822	木 3	長谷川 宗良	1 年 理二三(1-3,16-17,21,24)

構造化学 α		開講区分	A
授業の目標・概要		物質の多様な構造や性質、反応を体系的に理解するには、原子や分子に基づいた化学的な考察が不可欠である。「構造化学 α」では「構造化学」の内容（原子の構造や周期律、分子の化学結合の基礎など）を学びながら、原子・分子の構造に関する理論や実験技術が、現代の化学やその他の分野にどのように活かされているかを解説し、「構造化学」で学ぶ知見が幅広い科学分野の基盤となっていることを示す。具体的には、地球科学（地球大気化学）や天文学（星間化学）の最先端の研究を例として、以下の内容を解説する。 ・量子トンネル効果ですすむ化学反応 ・分子の振動と地球大気・星間空間のスペクトル観測 ・分子間力と星間物質の化学組成とその構造（結晶／アモルファス） ・そのほか関連事項（より身近な物質や現象についての構造化学） また可能であれば、分光測定などに関する実験をおこない、得られた結果について受講生と議論する。 「構造化学 α」では、「基礎化学」の前半や「構造化学」で学ぶ内容については速習し、その後は各回の講義や課題を通して適宜補完する形式をとるので、受講者は「基礎化学」の講義を受講済みであることが望ましい。 また本講義は、受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に原子の構造や分子の化学結合などに関する基礎学力の確認と学習意欲に関する調査を行う。結果については、ガイダンス後一週間以内に第二回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板、およびアドバンスト理科ホームページ(http://kis.c.u-tokyo.ac.jp/ADRK.html)に発表する予定である。	
関連ホームページ		http://kis.c.u-tokyo.ac.jp/ADRK.html	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50902	木 6	羽馬 哲也	1 年 理科
51105	金 6	羽馬 哲也	1 年 理科

生命科学Ⅱ

生命科学Ⅱ		開講区分	A
授業の目標・概要		細胞生物学を中心に細胞の構造と機能の初歩を講義する。内容はほぼ以下の通りであるが、講義の具体的な進め方は教員によって多少異なることもある。開講時の説明をよく聞くこと。 1. 細胞内輸送 2. 細胞骨格と細胞運動 3. 細胞間・細胞内情報伝達 4. 神経伝達と機能 5. 細胞周期 6. 動物・植物の発生 7. 遺伝子の発現制御 8. ゲノムと進化 9. 生物多様性	
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 理系総合のための生命科学－分子・細胞・個体から知る“生命”のしくみ－第4版 著者(訳者) 東京大学生命科学教科書編集委員会 編 出版社 (株)羊土社 ISBN 978-4-7581-2086-9 ※講義の詳細については、UTAS を参照すること	
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50158	月 4	豊島 陽子	1 年 理二三(1-3,10,14,16-17)
50160	月 4	加納 純子	1 年 理二三(18,20-22)
50922	金 1	増田 建、道上 達男	1 年 理二三(7,9,11-12)
50928	金 1	佐藤 健	1 年 理二三(13,15,23-24)
51032	金 3	山田 貴富	1 年 理二三(4-6,8,19)